

INFO 1

ぺこぺこのはたけ

春の香りを感じられるの5月の小鉢御膳

ぺこぺこのはたけでは、今年も旬な食材を使ったご料理を皆様にお届けしたいと思います!

5月の小鉢御膳は4月にも登場した、春の山菜ふきのとうを使った「ふきのとうコロッケ」やウドやふきの旨味がぎゅっとつまった山菜あんを合わせた「蕪煮 山菜あん」、そして、この度、小鉢御膳初登場の北海道の山菜ヤチブキを添えた「蝦夷の立金花(エゾノリュウキンカ)」など、山菜づくしの小鉢御膳となっております。どの小鉢も口に入れた瞬間、春の味と香りがふわっと感じられるご料理となっております。そんな春の香りを感じることのできる今月の小鉢御膳、ぜひご賞味ください!



INFO 2

北海道の米と汁 U-gohan 東大正門

4月から平日毎日営業始めました!

昨年に比べコロナ感染者数も減少傾向にあり、新学期で東大の学生さんが構内に戻ってくるということで、U-gohanも平日ランチ毎日営業することとなりました。

今まで週3日のみの営業でしたが、より多くの方々にU-gohanを利用して頂ければと思います。

最近、北海道産の「ホッケフライ弁当」や玉ねぎソースをたっぷりかけた「豚しゃぶとゆで野菜弁当」が人気です。



豚しゃぶとゆで野菜弁当



北海道産ホッケフライ弁当

INFO 3

Pâtisserie Ruelleからイベントのお知らせ

暖かい陽気が続いていますがいかがお過ごしでしょうか?5月のこどもの日は、昨年好評だった鯉のぼりケーキ・かぶとケーキを今年も販売いたしました。

さて、Ruelleからイベントのお知らせです。母の日はRuelleのケーキにエディブルフラワーを飾り華やかなケーキに仕上げます。6月の父の日は、焼き菓子と詰め合わせた様々なサイズのギフトボックスを販売予定です。日頃の感謝を込めて、Ruelleのギフトを送りませんか?

またお中元の時期にはお得なお中元セットを販売します。内容は1,000円、2,000円、3,000円をご用意しておりますが、さらにご注文時に「YOU YOU magazine(ゆうゆうマガジン)を見た」と言うだけでお値段変わらず300円分増量致します!

この機会に是非ご利用ください。ご来店お待ちしております。



Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

●社会福祉法人への寄付について

- 1 個人の場合
- 2 法人の場合
- 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<http://yu-yu.or.jp/contact/>



税額控除法人申請中

現在、当法人(ゆうゆう)は、税額控除対象法人になるための申請をしております。申請が通った場合、寄付金を所得税法上の税額控除とすることができます。これも皆様から頂いた多大なるご厚志のお陰です。正式に決定した暁には、改めて皆様にお知らせいたします。



ゆうゆうの今を伝える広報紙

YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



放課後等デイサービスKaede 散歩風景
撮影:工藤了



YOU YOU MAGAZINE 2022 SPRING

デザイン/株式会社ブリオンデ 山崎啓太郎 発行/社会福祉法人ゆうゆう 事務局 広報 tel:0133-22-2896 mail:info@yu-yu.or.jp

2022 / 5 SPRING

理事長メッセージ

YOU YOU MAGAZINE 創刊3年目を迎えます

社会福祉法人 ゆうゆう 理事長 大原 裕介

「ゆうゆうのやっていることは、たくさんありすぎて分かりにくい」とよく言われることから、まずは皆様にゆうゆうのことを知ってもらい、応援してもらいたいと創刊したYOU YOU MAGAZINEが3年目を迎えます。四季折々に手元に届く多くの皆様のお支えの賜物です。

今年1年もSNS等の発信とあわせて、温かみのある紙ものの広報媒体としてYOU YOU MAGAZINEを皆様にお届けしたいと考えております。

昨年度、一昨年度のメッセージを読み返してみると、新型コロナウイルスに関することが大半を占めておりました。これまでの期間に収束されるであろうと願っていた心模様とは裏腹に変異を繰り返し、今もなお、私たちの暮らしのなかに蔓延とウィルスが存在しています。とりわけ、人の命を預かる

私たち福祉分野のなかでは、一瞬たりとも気を許せない日々が続いており疲れ枯れそうな時期もありましたが、できるリフレッシュと皆で励まし鼓舞しながら難局を乗り越えて来ました。これまで積み上げてきた経験とナレッジをもとに、怯むことなく日々を過ごしていきたいと思っております。

新型コロナウイルスの報道に翻弄されていた頃、まるで映画の一場面のような目を覆いたくなる惨状が映像として映し出されました。ウクライナの情勢です。毎日のように繰り返される市民への攻撃が報道されるたびに胸が強く締め付けられ苦しくなっています。私たち一国民ができることなど限られているかもしれませんが、どのように向き合うべきかを日々悩まされ続けています。平和に生きるという尊さを改めて認識することにもなります。

新型コロナウイルスにウクライナの情勢、私たちが生きている世界はこれまでの当たり前が当たり前ではなくなるのかもしれない。それでも、今日を生きる1日を大切にするために、目の前にいる人に真摯に寄り添い、誠実に1日1日を積み重ねていきたいと思っております。

素敵な1日に溢れるゆうゆうでありたいと思っています。すべてをお伝えることは難しいかもしれませんが、そんな1日の一端をYOU YOU MAGAZINEでご紹介したいと思っております。

今後とも変わりないご支援を心よりお願い申し上げます。



今年もはじまります!「福祉と当事者のリアル」

2020年より始まりました、北海道医療大学オンライン公開講座「福祉と当事者のリアル」。コロナ禍の混乱からスタートしたこの授業ですが、学生の皆さん、全国の受講されている皆さんより「人生を変える講座だった」「全国の当事者・実践者のリアルを知れる貴重な場」などのお声をいただき今年度も実施します。

大原理事長をコーディネーターに、各回日本全国で活躍されている講師陣をお迎えします。

子どもの貧困をはじめとする生活困窮、若年性認知症、盗みを繰り返してしまうクレプトマニアなど当事者と実践者により各テーマを深く掘り下げます。YouTubeでの配信視聴となりますので好きなお時間に受講いただけます。ご受講お待ちしております!



お米づくりの始まり、粃まき

降り積もる雪に吹き付ける風。厳しい冬が終わり、野布瀬農園にもやっと春が訪れました。春は、お米づくりで一番大切な季節。丈夫な苗を育てることが秋のおいしいお米へとつながっていきます。今年も野布瀬農園の野菜の生長と、共に働くメンバーをご紹介しながら、みなさんと土のつながりや自然のめぐみの素晴らしさをお伝えできたらと思います。大人も子どもも泥んこになる田植え体験を6月初旬に予定しております。日程が決まりましたので楽しみにお待ちください。



粃まきを終えた苗箱がビニールハウスに並ぶ

共生型の商店街

大麻銀座商店街の一角に、よるのにじの拠点が出来てから、この春で12年が経過しました。僕たちが、この商店街に来た当初は「シャッター商店街」と呼ばれるような、店舗がまばらで人通りも閑散としていた風景が、今では随分と変わった印象を持っています。様々な人が集まって活動をするような「共生型」のイベントを多く実施してきましたが、今はそのようなイベントを実践せずとも、「もう1度、商店街に活気を取り戻したい」という熱心な方々の想いに呼応するかのよう、面白い事や地域のためのチャレンジをしている様々な業種の若者たちが集まり、日々商店街を賑やかにしてくれて



います。今日も、よるのにじやkaedeを利用する方々の散歩や活動が、賑やかで彩りのある風景の一部として溶け込んでいきます。

新入職員紹介

新卒採用職員



阿部 摂子

所属:KIYOSEマンション生活支援員
出身大学:北海道教育大学釧路校

ゆうゆうの職員が支援を求めている方と真摯に向き合っているところに魅力を感じ、就職を決めました。利用者さんがどんな想いを抱いているのかを第一に考えながら、支援に努めたいと思います。これからよろしくお願ひ致します!



野口 純岳

所属:KIYOSEマンション生活支援員
出身大学:札幌学院大学

利用者一人一人の想いに目を向け、妥協せずに向き合っているゆうゆう職員の姿勢に惹かれ、就職を決めました。自分も利用者一人一人の想いと真剣に向き合い、大切にしたい関わりたいと思っています。これからよろしくお願ひ致します。



信岡 里菜

所属:Social Apartment 大麻こぼと生活支援員
出身大学:北星学園大学

1つの領域にとらわれず、地域のニーズに沿った支援やサービスに魅力を感じました。そして、職員一人一人が個性を活かしながら、活躍されていることが素晴らしいと思います。今後は色々なことに挑戦したいです。



山形 愛実

所属:生活介護事業所によきによき生活支援員
出身大学:青森県立保健大学

大学時代、様々な分野において仕事をしてみたいと思い、いろいろなことに挑戦できるゆうゆうに就職を決め、青森から北海道にやってきました。昨日よりも今日、今日よりも明日と日々成長できればと思います。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

中途採用職員



白石 未佳子

所属:amaririsu 児童指導員

障がいのある妹を持ち、いろいろな想いを抱えて生きてきましたが、ゆうゆうには、障がいのある人はもちろん、家族の想いも大切にできる仲間がいると感じました。これからはもちろん学びながら、新しい支援の展開に挑戦していきたいです。



都築 香

所属:KIYOSEマンション生活支援員

準職員で働いてきましたが、ご縁があり今年度から正職員になりました。これからは変わらず利用者さんと笑い合いながら支援をしていきたいと思っています。



藤田 会里

所属:就労継続支援A型事業所U-Garden 栄養士

ゆうゆうで働きたいと思ったきっかけは、求人「食事の委託をやめて直営でやりたい」と書いてあり、最近は大変だから委託にすることを考える会社だと思いました。美味しい、楽しめと言われるよう頑張りたいです。

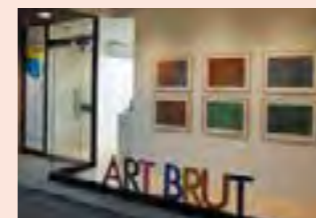


岩見沢市で共生社会を目指す新規事業が始まります。

ゆうゆうと岩見沢市は、この春「岩見沢市障がい者文化芸術活動拠点業務」の業務契約を結びました。市とのパートナーシップは2016年「北海道アール・ブリュットフォーラム in 岩見沢」に始まり、2018年には芸術文化でナント市を再生させた仏国元首相を招聘したフォーラム、2019年と2020年は大規模フェスティバルも無事成功させるなど実績を重ねてきました。2020年のフェスティバルを機にオープンした公営施設「岩見沢アール・ブリュットギャラリー」も障害者の芸術発信拠点として順調です。この数年間でゆうゆうと市内各事業所との関係性も出てきました。より大きな拠点開設も視野に入れた「共生社会」への取り組みがいよいよ始まります。



アール・ブリュット ショウケース2019 in 岩見沢



岩見沢アール・ブリュット ギャラリー

東京からインターンシップ生が来ました!

ゆうゆうでは毎年、高校生・大学生のインターンシップ(就業体験)を行っています。インターンシップは、利用者さんと地域住民との中期的な関りを通して多様な価値観に触れ、自分の将来について考える貴重な経験となります。今年は4月より4か月間、生活介護事業所によきによきで受け入れしています。

インターンシップに参加しております、市川滯来と申します。東京都品川区にある立正大学心理学部に所属しており、ゆうゆう品川事業部の日中一時支援で2年ほどアルバイトをしていました。アルバイトでは小学1年生から高校3年生まで関わる機会があったのですが、高校3年生の利用者さんが就労継続支援へ移った際に、今後どのような活動をしていくのが興味を持ちました。

そしてゆうゆうの本社がある北海道では、当別町を中心に地域住民と協力しながら多様な活動を実践していることを知り、実際にその地に赴いて学びを深めたいと思いました。短い期間ではありますが、精一杯努めてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

